

かわさきの大気 昔と今

かわさき たい へん
川崎も大変だったことがあるの？



たい き おせん
大気汚染ってこわいね。でも、あまり
わたし
私たちには関係ないようだけど…

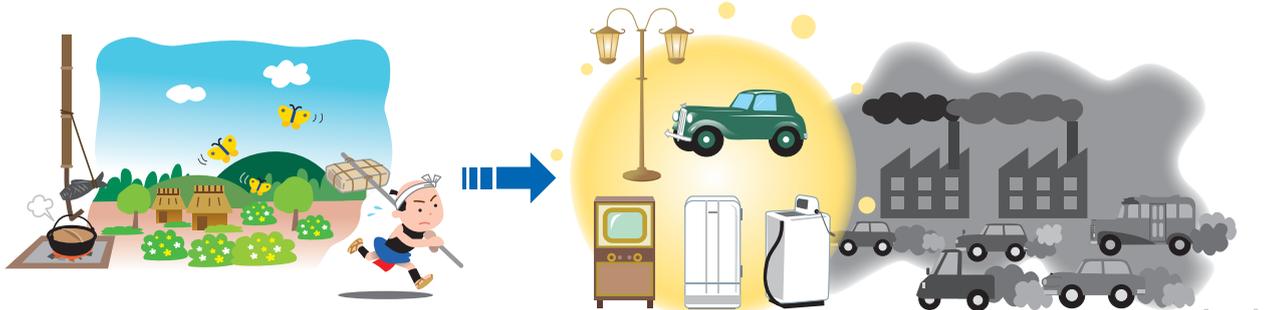
ねん まえ さんざんよう
そうかな？これは50年くらい前、産業が
はってん
発展したころの川崎だよ。どう思うかな？



いま
今からずっと昔、地球上の大気はとてもきれいで
した。人が増え、産業が発展し、人々が便利な生活
をを求めるようになってくると、工場や自動車が増え、
また日々の生活で電気を使うようになりました。工
場で製品をつくったり、発電所で電気をつくるため
に、石油や石炭などの燃料を燃やしたけむりが増え、
また、自動車が増えることで排気ガスが増えました。



わたし
私たちのくらしはとても便利で豊かになりましたが、それとひきかえに、きれいな大気をよごしてしまうことになってしまったのです。



かわさき
とくに川崎は、たくさんの工場があり製鉄や化学工業などの
こうぎょう ちゅうしん はってん
工業を中心に発展してきた都市です。そのため、1960年代ご
ろ、特に大気汚染などの公害がひどく、多くの人々がぜんそく
などの病気で苦しみ、学校や会社に行けなくなる人もいました。



公害とは…

ひと おこな かつどう
人が行う活動によって、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下や悪臭などがおこり、
ひと びと けんこう せいかつ かんきょう ひ がい にほん ねんだい みなまたびょう よっかいち
人々の健康や生活環境に被害がでること。日本では、1950年代ごろから水俣病や四日市ぜんそく
などが社会問題になりました。最近ではダイオキシンやアスベスト、放射性物質などが原因の新しい公
害が問題となっています。